

**令和5年11月**

**(第76回)**

**八戸圏域水道企業団**

**経 営 審 議 会**

**会 議 録**

と き 令和5年11月30日（木）

午後3時

ところ 八戸圏域水道企業団

1階 大会議室

**八戸圏域水道企業団**

# 令和5年11月八戸圏域水道企業団経営審議会 会議録

日 時：令和5年11月30日（木）15：00～16：30

場 所：八戸圏域水道企業団 1階 大会議室

## 出席の状況

### ○ 出席（8名）

会長	武輪 俊彦	(武輪水産㈱ 代表取締役社長)
副会長	鈴木 拓也	(八戸工業大学 工学部 工学科 建築・土木工学コース 教授)
委員	倉田 任康	(八戸ホテル協議会 会長)
〃	河田 恭宏	(㈱デーリー東北新聞社 企画総務局長兼社長室長)
〃	田村 正文	(八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科 教授)
〃	中村 一明	(連合青森三八地域協議会 議長)
〃	藤原 広和	(八戸工業高等専門学校 産業システム工学科 環境都市・建築デザインコース 教授)
〃	森 善則	(東北電力ネットワーク㈱八戸電力センター 所長)

### ● 欠席（2名）

委員	高畑 紀子	(合同会社ハイフィールド・クリエーション 代表社員)
〃	氷見 聡二郎	(三菱製紙㈱八戸工場 工場長代理)

(順不同・敬称略)

### 企 業 団（17名）

副企業長	古川 勲
事務局長	三浦 哲也
事務局次長兼経営企画課長	卷 泰伸
事務局次長兼配水課長	野々口 宏樹
事務局次長兼水質管理課長	遠藤 邦宏
総務課参事兼課長補佐	大久保 晶丈
管財出納課長	河村 泰幸
料金課長	山道 隆志
検査室長	北城 祐司
工務課長	内宮 靖隆
給水装置課長	高松 恵学
浄水課長	沢田 昌希
経営企画課長補佐	三浦 晶子
経営企画課 主幹 財政運営グループリーダー	宮野 良平

経営企画課財政運営グループ 主査 服部 真幸  
経営企画課財政運営グループ 主事 山本 晃司  
経営企画課財政運営グループ 主事 佐々木 陽平

日 程：令和5年11月八戸圏域水道企業団経営審議会

【 次 第 】

1. 開 会

2. 議 事

    案件1 令和4年度水道事業会計決算について

    案件2 活動計画について

    案件3 その他

        ① 蟹沢配水幹線布設替工事について

        ② 馬淵川系導水管更新事業について

3. 閉 会

## 会議内容要旨

### 1. 開 会

#### 事務局次長兼経営企画課長

これより第 76 回経営審議会を開催させていただきます。  
はじめに、副企業長からご挨拶を申し上げます。

#### 副企業長

本日は、お忙しい中ご出席いただきまして大変ありがとうございます。明日から 12 月という慌ただしい中での第 76 回経営審議会の開会となります。

今年は非常に暑い夏を過ごしました。冬の予報は平年並みかやや高め気温の予想ですが、実際はどうなるか分からないところでございます。また、関西から中国、九州、四国地方では降雨量が少なくダム水位が低くなっており、節水をしているという情報が入っております。当企業団では、ダム及び河川においても順調に水量の確保はできておりまして、問題なく事業運営ができています。

前回は、施設見学会と研修会を開催しました。研修会については、水道事業会計の中身が大変分かりにくいところがあったので、外部講師を招いて「水道事業の法と財政」というタイトルでご講演いただきました。また、施設見学会では、西水管橋・川中島ポンプ場・白山浄水場を見学していただきました。出席された委員の皆様、暑い中大変ありがとうございます。

さて、当企業団の事業については、ここまで順調に進んできていると考えております。本日はその中で「令和 4 年度水道事業会計決算について」、「活動計画」、その他の案件として、以前に工事現場の見学をしていただきました「蟹沢配水幹線布設替工事」、そして「馬淵川系導水管更新事業」、こちらは平成 21 年正月に大規模断水のあった口径 1200 mm の導水管で、約 40 億円の投資をして、7 年かけて全て入れ替え、現在管をつなぎ終えたところで、ただいま試験運転をしているところでして、間もなく通常運転に戻るところまでできております。こちらについても後程、担当課長よりご説明させていただきます。

それから、次第には記載しておりませんが、有機フッ素化合物の総称である「PFAS」について、その中でも特に毒性が強く問題視されている「PFOS・PFOA」について説明を予定しております。こちらは新聞でも報道されておりますし、国会でも討論されている内容でございます。時間の関係もございますが、そちらについても最後にお知らせすることができれば良いと考えております。

委員の皆様には、様々なご意見をいただき、今後の水道事業運営の参考にさせていただきたいと思っております。本日はどうぞよろしく願いいたします。

#### 事務局次長兼経営企画課長

事務局からご報告申し上げます。10 名中 8 名の委員のご出席でございますので、会議が

成立していることをご報告申し上げます。

それでは、以後の進行を会長にお願いいたします。

## **案件1「令和4年度水道事業会計決算について」**

### 会長

それでは次第に基づきまして会議を進めます。案件1「令和4年度水道事業会計決算について」説明をお願いいたします。

### 事務局長

<資料1を説明>

### 会長

ただいまの説明に関しまして、ご質問ご意見等をお伺いいたします。

それでは私からご質問させていただきます。スライド28ページに記載されております「節水型社会への移行」についてですが、これまで、また今後も、どのような形で節水が進んでいくと予想されていますでしょうか。

### 副企業長

例えば、トイレ等々の設備がどんどん改良されておりまして、少ない量で水を流す等の技術的進歩による節水型の設備の広がりを危惧しているところです。

### 会長

他の委員の皆様からご質問ご意見等ございませんか。

### A委員

管路の更新率が依然低い水準となっている等の説明がございました。管路延長で考えれば確かに低い水準かもしれませんが、今、実際に更新工事をしているのは口径の大きい管路・幹線を主にやっているのです。例えば、二次元的に面積とか三次元的に体積とかで考えればもう少し管路更新率は良いのではないかと思いますがいかがでしょうか。

### 副企業長

委員のおっしゃるとおり、大口径の管路の更新工事をしており、非常に単価が高く距離の稼げない工事のため、管路更新率は上がらない状況でございます。委員のご意見のとおり、例えば、体積等でデータを計算すれば更新率も良い数値になると思います。今までそのような計算をしたことがなかったので、次回にお示しできればと思います。

会長

他の委員の皆様からご質問ご意見等ございませんか。  
無いようですので次に進ませていただきます。

## **案件 2「活動計画について」**

会長

案件 2「活動計画について」説明をお願いいたします。

事務局次長兼経営企画課長

<資料 2 を説明>

会長

ただいまの説明に関しまして、ご意見ご質問等ございませんか。  
無いようなので次に進ませていただきます。

## **案件 3「その他① 蟹沢配水幹線布設替工事について」**

会長

次に、案件 3「その他① 蟹沢配水幹線布設替工事について」説明をお願いいたします。

工務課長

<資料 3 を説明>

会長

ただ今の説明に対しまして、皆様からご質問等ございませんか。

副会長

最後のスライド 19 ページの写真にあります、水道管本管の上に塩ビのパイプが 3 つありますが、これはどのような意味があるのでしょうか。

工務課長

隙間にモルタル充填する際には奥の方まで充填させないといけません。この 1 本ずつの長さが違う塩ビのパイプで充填します。中まで充填が終わりましたら、最後に塩ビの中にもモルタルを充填させて仕上げる工法になっております。

副会長

充填口ということでしょうか。

工務課長

そうなります。

会長

他にいかがですか。

B委員

スライド 2 ページですが、設計金額が当初よりも 5 億 6,100 万円ほど増加したのは、工事期間が 1 年間延びたことが影響でしょうか。

工務課長

設計金額増額の理由については、工事期間の延長ではなく、先程、説明しました出水が多くなったことによる薬液注入工が増えたことによるものです。加えて、粘板岩が出てきたことで日進量が 2 分の 1 以下となり、シールドマシンのカッタービットという土を削る刃の摩耗が激しかったため、交換の費用等がかかったことと理解していただければよろしいかと思います。

会長

他にいかがでしょうか。

それでは、次に進ませていただきます。

**案件 3 「その他② 馬淵川系導水管更新事業について」**

会長

次に、案件 3 「その他② 馬淵川系導水管更新事業について」説明をお願いいたします。

工務課長

<資料 4 を説明>

会長

ただ今の説明に対しまして、皆様からご質問等ございませんか。

私から一つ、ケースバイケースとは思いますが、開削工法とシールド工法のコストの差はどれくらいあるのでしょうか。

工務課長

一概には言えませんが、開削工法の方が安価になります。現在データはありませんが、比較したことはあります。シールド工法においても岩盤、土の特性により単価が変わりま

すので、単純な比較は難しくなりますが、開削工法に比べるとシールド工法の方が割高にはなります。

#### 会長

他に委員の皆様からなにかございませんか。

質問は無いようでございますので、予定した案件以外に委員の皆様、あるいは事務局の方でも何かございましたらご発言お願いいたします。

#### 副企業長

最初にお話ししました、水道水の「PFOS・PFOA」について事務局次長兼水質管理課長から説明をさせます。

#### 事務局次長兼水質管理課長

※追加資料配布

<資料を説明>

#### 会長

ありがとうございました。

3年前から検査されているということですが、何かご質問ありましたらお願いいたします。

#### 副会長

現在、色々なところで検出され、水道水源・水道水の中に含まれているのではないかと社会的な不安につながっているため、是非企業団にはこのような測定をしているということ、あるいは結果として水道水は安全だということを利用者の皆様に積極的に広報していただきたいと思います。昨今は情報の伝達がとても早く、ニュースでも SNS でも瞬時に情報を得ることができます。そうすると、自分たちの飲んでいる水道水は危ないのではないかと思い、水道離れにつながっていく可能性もあると思います。そのため、企業団でこのような結果が出ているのであれば、広報紙やホームページで構いませんので安全だということを積極的に広報していただきたいと思います。

#### 事務局次長兼水質管理課長

ホームページに掲載はしていましたが、積極的にアピールはしていませんでした。

#### 副会長

アピールを強くしていくことが、これから色々な場面で必要になってくると思います。



## 会長

私からも一つ、スライドの 5 ページに各国の基準値がありましたが、各国で基準値を超えると供給できないということになるのでしょうか、WHO の場合、他の国より基準値が低いのですが、これは加盟している国も守らなければならないということではなく、目安ということでしょうか。

## 事務局次長兼水質管理課長

目安になります。一つ一つ検証したわけではありませんが、決定された時期が違うため、そのタイミングにより基準値が甘く見えることもあると思われます。アメリカよりも日本の方が後ですので、日本の基準値が厳しいように見えますが、時間的な差も影響していると思っております。

## 会長

ありがとうございます。

他に皆様からございませんか。

## C委員

八戸圏域では出ていないとのことですが、青森県内の他の地域で出ているか、あるいは測定しているかといった情報はあるのでしょうか。

## 事務局次長兼水質管理課長

ホームページで公表しているところもあると思いますが、他の地域の値は確認しておりません。水質基準値でない項目をどれくらいの事業体が測っているのかを統計上調べましたら、令和 3 年度では 15% から 16% の浄水場でしか計測されておりませんでした。件数を数えただけになりますので、今私がお答えできる状況にはありません。

## C委員

分かりました。ありがとうございます。

## 会長

他はよろしいでしょうか。

事務局の方からも何かございませんか。

よろしいようですので、以上で議事進行は終了させていただきます。

進行を司会の方に戻させていただきます。

## 事務局次長兼経営企画課長

皆様、長時間にわたりお疲れ様でございました。最後に副企業長からご挨拶がございます。

#### 副企業長

委員の皆様、本日は長時間にわたりありがとうございました。委員の皆様から色々な質問・要望等出ましたので、次回の3月の会議の時までにデータ・資料等でお出しできるものはお示ししたいと思います。

次回は来年3月を予定しており、令和6年度予算の概要について説明したいと思っております。年明けに各課の予算査定を進めまして、令和6年度の内容をまとめて決めることとなっております。3月の時点だと議会前のため、案の段階ではございますが、令和6年度の内容・金額等々について、お示ししたいと思っております。その際には、委員の皆様からでた意見を頂きながら進めていきたいと思っております。

本日も長時間にわたりどうもありがとうございました。

#### 事務局次長兼経営企画課長

本日予定しておりました日程がすべて終了となりました。これで第76回経営審議会を閉会いたします。委員の皆様、大変お疲れ様でございました。